

評価結果概要表

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3870104803
法人名	有限会社 ヒメックス
事業所名	グループホームかがやき 2階ユニット
所在地	愛媛県松山市東方町甲1438-1
自己評価作成日	平成24年5月

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

個人に合わせたケアに努めています。外出時、全員参加は出来ませんが、力を入れています。個人の病状等を考え、水分・食事に気を付けています。

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（↓このURLをクリック）

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成24年5月25日

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

●前回の外部評価を受け、ユニット会で日々の利用者への言葉かけ等について振り返り、利用者の立場に立った言葉かけができるように話し合われた。職員は、言葉遣いに気を付けられたり、「笑顔で話しかける」よう心がける等されている。又、職員同士で、「今の対応よかったよ」と声をかけ合い、ケアの質の向上に取り組まれている。
 ●動物園やスーパー等、現地で車いすを借りることが可能な場所を探し、事業所から車いすを持参しなくても済むようにして、軽自動車の乗車席等のスペースを確保して、一人でも多くの利用者が出かけられるよう、計画して出かけておられる。
 ●入居時に持ち込み、湯飲みと茶碗等、使い慣れた食器を使用している方もいる。ミキサー食が必要な利用者で食が進まない方がおられた際には、職員は、利用者の状態等も踏まえて話し合いを重ね、できる限り細かく刻んだ食材にトロミを加える等して、見た目もおいしそうに見えるような調理に工夫された。しだいにご本人の食欲も出て、食事がすすむようになったというような事例がある。

V. サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当する項目に○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目：23, 24, 25)	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目：9, 10, 19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目：18, 38)	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目：2, 20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目：38)	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目：4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目：11, 12)
60	利用者は、戸外に行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目：30, 31)	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目：28)		

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

I. 理念に基づく運営

II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。
- 全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含まれます。
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含まれます。
- チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含まれます。

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

ーサービス向上への3ステップー

事業所名 グループホームかがやき

(ユニット名) 2階ユニット

記入者(管理者)

氏名 管理者 相原ちとせ

評価完了日 平成 24 年 5 月 1 日

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
I.理念に基づく運営				
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	(自己評価) 地域とのつながりを大切にし、ともに歩み・ともに生きるを理念とし、利用者様の立場に立つと言う思いを職員全員で共有、実践している	
			(外部評価) 事業所開設時から、「ともに歩み・ともに生きる」と、事業所理念を掲げておられ、事務室にある職員トイレの扉に貼って職員の目にふれるようにされている。又、毎月のユニット会では、すべての職員で理念を唱和し、共有できるよう取り組んでおられる。ユニットリーダーは日々、利用者を「自分の親として接していく」よう、職員に話しておられる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	(自己評価) お隣やご近所の方々と挨拶をかわし、花火やバーベキューなどの行事開催時には声掛けを行っている。地域の事情などで回覧板などはなし	
			(外部評価) 近くの小学校から運動会の案内をいただき、見学に出かけられたり、5月の地域清掃活動時には、利用者1名、職員2名で参加された。地域の方には、「3名も来てくれたんですか」と、喜んでいただいた。事業所で花火やバーベキューを行う際、職員は、案内のチラシを持って、ご近所の方に来ていただけるよう誘っておられるが、参加くださるまでにはつながらないようだ。地域性等もあって、事業所では地域の方達にグループホームや認知症について、理解していただくことに難しさを感じておられる。	今回、清掃活動等への参加を喜ばれたというような経験もでき、地域の中での地域密着型サービス事業所としての役割等も踏まえて、地域との関係を深めていけるような取り組みをさらに一歩すすめていかれることが期待される。地域ニーズ等も探りながら、職員でアイデアを出し合い、さらなる地域参加につながるような取り組みをすすめていかれてほしい。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	(自己評価) 社協の方のご提案で地域で徘徊の方がおられたら、かがやきまで連絡くだされば包括支援センターにこちらで連絡しますと言った旨のお知らせをお店や支所に貼らせて頂けるようお話するも、断られた地域性もあり対応が難しい場合もある	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>(自己評価) ご出席頂いた方のご意見を全職員に報告、協議し出来ることは取り入れている</p> <p>(外部評価) 会議には主任も参加されており、事業所からは行事や外出時等の利用者の様子や外部研修の内容についても報告されている。昨年外部評価実施後の会議では、目標達成計画について説明された。行事報告に対して、民生委員の方から、「どんなことをしているか見てみたい」という声があり、今年、敬老会を運営推進会議と併せて行い、参加していただくよう計画されている。ご家族にも会議を案内されているが、日程や交通の便のこともあって、会議参加になかなか至らない現状がある。事業所では、今後、「会議を土・日に開催する等、ご家族が参加しやすい会議となるよう日程を調整したい」と考えておられた。事業所のケアサービスを良くしていくための会議でもあり、利用する側である利用者やご家族の参加もすすめていかれてほしい。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) 運営推進会議の時などに報告・相談させていただいている</p> <p>(外部評価) 市の担当者や地域包括支援センターの職員が、運営推進会議に参加してくださっており、熱中症や食中毒の予防について、資料を持参してくださり、アドバイスもいただいた。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) 玄関の施錠・身体拘束は行っていない、施設内研修を年1回実施している</p> <p>(外部評価) 昼間は、玄関の施錠はせず、「帰りたい」という利用者もあるが、昼間は、家事等、違うことに気が向くように支援されたり、夜間時であれば、職員がゆっくりお話を聞きするように支援されている。又、気分転換にドライブに出かけることもある。夜間、居室でポータブルトイレを使用される方については、ベッドの足元にセンサーマットを敷き、センサーが鳴ると、職員が駆けつけ介助するようになっている。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 毎月のユニット会で等で常に話し合いをもち、職員全員の意識と倫理観を高めている	
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価) 制度利用者なし、施設内研修を実施している	
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 入所前面接、契約時に不安要望などをお聞きし、ご説明をおこなっている。	
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 利用者様、ご家族様のご意見は取り入れるように努めている。要望などは記録し、会議などで周知徹底している (外部評価) 毎月、主任は、利用者個々の日常の様子を手紙に書いて、ご家族に送付されている。ご家族は、週に1度来られる方もあるが、疎遠になっている方も少なくはないようだ。ご家族の来訪時に、行事の様子をビデオで見させていただいたり、日頃の暮らしぶりを伝えて、暮らしやケアへの意見や要望を聞くようにされている。昨年度から、毎月の誕生会には、誕生月のご家族にも参加いただけるよう案内されており、利用者と一緒にゲームや歌を楽しめるよう企画されている。高齢のご家族等は交通の便のこともあって、来訪がし難いような方もあるようだ。	管理者は、ケアへの意見や要望をご家族から聞くようにされているが、「ご家族は、要望等を出すことに遠慮があるのではないか」と感じておられる。今後、ご家族が利用者や事業所とかかわるような機会作りを工夫して、利用者の暮らしをもっと支えるような取り組みをすすめていかれてはどうか。さらに、事業所全体の取り組み等も発信していくような取り組みも工夫されて、事業所についてご家族に関心を持ってもらえるよう、取り組まれてはどうか。

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 職員の希望で勤務時間を変更したり、提案や問題点などがあれば協議し、解決出来る様取り組んでいる	
			(外部評価) 事業所では、外出支援に力を入れ取り組んでおられ、職員からの提案で、事業所の軽自動車1台と、レンタカーを借りて多人数で外出された。又、動物園やスーパー等、現地で車いすを借りることが可能な場所を探し、事業所から車いすを持参しなくても済むようにして、軽自動車の乗車席等のスペースを確保して、一人でも多くの利用者が出かけられるよう、計画して出かけておられる。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価) 職員全員がやりがいを持って働ける様日頃からの話し合いや研修時の取り組みなど、職員の努力の把握に努めている。残業の給与への反映、昇給、介護職員処遇改善交付金の交付など実施している	
			(外部評価) 各職員のスキル向上に努める様ユニット会などで社内研修を積極的に進めている。職員の勤務状況に無理のない範囲で社外研修を行っている	
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価) 地区のグループホーム会連絡会・勉強会に参加している	
			(外部評価)	
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価) 毎日の事はミーティングノートを通じて全スタッフが合った事を共有しています	
			(外部評価)	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	(自己評価)	
			入所時、契約の際、色々お聞きしており、又、より良い関係を築ける様努力しております	
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価)	
			入居前の面接時にアセスメント試み、ご本人に必要なサービスを提供出来る様努力しています	
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	(自己評価)	
			共に暮らす関係を築いていくためのスタッフ間の話し合いを常に行っています	
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価)	
			利用者様とご家族様がコミュニケーションを図れる様心掛けております	
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価)	
			利用者様が望めばよい良い関係が続くよう努めております	
			(外部評価)	
			調査訪問時、利用者の友人が訪ねて来られた場面がみられ、友人の方からのお土産のお菓子を自室の冷蔵庫に大切にしまわれていた。職員は、「以前よく出かけていた百貨店に行きたい」という希望のある利用者や百貨店に出かけられたり、「自宅の様子を見に帰りたい」という方と、ご自宅で数時間過ごす等、利用者個々の希望がかなえられるよう、個別に支援されている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) 全体、および個人の状態をよく観察し、把握に努めています。	
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) 退所されても支援等に努めております	
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 把握に努めております (外部評価) 利用者個々のこれまでの暮らしぶり等を、年代を追って「私の生活歴」に記録されており、情報収集や記録は、主任が担当されている。又、日々、利用者から得た情報や、利用者の言葉等は、口頭で伝え合ったり、日々の介護記録に書き留めるようにされている。	事業所は、「ともに歩み・ともに生きる」と理念に掲げて、個別支援に力を入れておられる事業所でもあり、今後さらに、利用者個々がその人らしく暮らし続けるための支援をすすめていくためにも、得た情報を介護計画につなげ、情報を共有して取り組んでいけるような仕組み作りが期待される。
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) ご本人様の思い出等、よく傾聴し把握に努めている	
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) 職員が毎日かかわっている事の中で、把握出来る様努力している	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>(自己評価) 利用者様、ご家族様のご意見を取り入れ、月に一階のモニタリングを行い、その都度計画を見直し、介護計画に反映させています</p> <p>(外部評価) 職員は、ご家族の来訪時等に、利用者のケアや暮らしについての希望をお聞きして、ケアマネジャーに伝えるようにされており、現在は、週2日出勤するケアマネジャーが、計画を作成されている。作成された介護計画をもとに、「ケアプランチェック表」が作成されており、毎日、その日の担当職員が「できた」「できない」で、評価をするようになっている。毎月のユニット会時には介護計画について意見を出し合い、見直しにつなげておられる。</p>	<p>日々、利用者にかかわる現場職員が、介護計画の作成一連の流れにかかわり、共有しながら支援に取り組めるような体制作りが望まれる。さらに、利用者が地域の中で暮らし続けられるような支援に向けて、アセスメントを支援につなげ、いろいろな人や場と利用者をつなげていけるよう、さらに支援の幅を拡げていかれてはどうだろうか。</p>
27		<p>○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>(自己評価) 日々のケース記録や、月1回のユニット会を開き、職員一同が情報を共有し、介護計画の見直しにとりいれてます</p>	
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) 個々のご利用者様に何が必要なのか、常に職員一同かんがえながら、ご利用者様が快適な生活が送れる様工夫しています</p>	
29		<p>○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>(自己評価) 鍼灸院を利用されたり、宅配のヨーグルトを飲まれ、健康維持に努めております</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>(自己評価) ご家族様が納得されたかかりつけ医がおられ、週2回の往診を受けられておられる</p> <p>(外部評価) 事業所には、2ヶ所の協力医があり、週2回往診する医師と2週間に1度往診する医師のどちらかを選んで、かかりつけ医としていただくようにされている。どちらのかかりつけ医も、緊急時等、24時間対応していただけるようになっている。以前からの主治医をかかりつけ医として希望される方については、受診にはご家族が付き添われている。歯科受診が必要となった場合は、訪問歯科も利用することができるようになっている。</p>	
31		<p>○看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>(自己評価) 週2回の訪問看護師があり、介護職員と看護職員の連携を取っています</p>	
32		<p>○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>(自己評価) かかりつけ医と相談し、入院先を円滑に決定させて頂く</p>	
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) ご利用者様、ご家族様、介護職員、看護師、かかりつけ医と連携を取り、ご本人が望まれる様に努めております</p> <p>(外部評価) 事業所では、「入居された時点から広義でターミナルケアの始まりである」という考えのもと、利用者、「ともに歩み・ともに生きる」姿勢で支援できるよう努力されている。利用者やご家族の希望で事業所で看取りを支援された事例もあり、現在入居されている利用者やご家族についても、ほとんどの方が、「最期までここで」と希望されている。1週間ほど前から体調を崩されている方がおられ、訪問調査時、かかりつけ医が点滴注射のために往診されていた。年に1度、主任は職員に対して、「ターミナルケア」についての研修を行っておられる。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) 講習など1人ひとりが積極的に参加し、定期的に職員の皆さんと話し合っている	
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) 月に1度のユニット会などで話し合い、施設内のどこが危険か話し合い、危険な個所は努力して改善に努めている (外部評価) 3月に、消防署の協力を得て避難訓練を実施された。夜間、1階ユニットの台所からの火災を想定して実施された。歩行できる利用者の方と車いすを利用している方も参加された。消防署からは、初期消火の方法や、落ち着いて通報すること等についてアドバイスをいただいた。避難方法のマニュアルは、現在、作成の途中である。	今後は、避難が難しいと考えられる2階からの避難方法についても、学ぶ機会を作られてはどうだろうか。利用者の状態変化や地域性等も踏まえ、又、いろいろな災害の場面を想定して、職員は、いざという時に慌てず利用者を避難誘導できるように、取り組みをすすめていかれてほしい。又、地域との関係を深めていけるよう取り組み、地域とお互いに協力し合えるような体制も作っていかれてほしい。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	14	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) スタッフ同士が話し合い、声を掛け合うことで人格の尊重、プライバシー保護に努めています (外部評価) 前回の外部評価を受け、ユニット会で日々の利用者への言葉かけ等について振り返り、利用者の立場に立った言葉かけができるように話し合われた。職員は、言葉遣いに気を付けられたり、「笑顔で話しかける」よう心がける等されている。又、職員同士で、「今の対応よかったよ」等と声をかけ合い、ケアの質の向上に取り組まれている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) 働き掛けています	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 全て利用者様の思いを優先とはいかないが、1人ひとりの気持ちや様子を見て、生活して頂いている	
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価) 利用者様1人ひとりに職員一人につき、声を掛けて希望を聞き、買い物のお手伝いや、必要な方は介助しています	
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 時には利用者様にメニューの希望を聞き、お手伝いをしてもらいながらつくることもあります	
			(外部評価) 昨年の8月より、有機野菜を中心に食材を宅配してくれる業者を利用されており、事業所で注文した食材を届けてくれるようになっている。献立は、その日勤務する職員が、冷蔵庫等にある食材により決めておられる。職員は、利用者へ食べたいものをお聞きするが、「美味しい物が食べたい」というお返事が多いようだ。調査訪問時、でき上った食事をお盆に乗せて運んだり、下膳される利用者の様子がみられた。入居時に持ち込み、湯飲みと茶碗等、使い慣れた食器を使用している方もある。ミキサー食が必要な利用者で食が進まない方がおられた際には、職員は、利用者の状態等も踏まえて話し合いを重ね、できる限り細かく刻んだ食材にトロミを加える等して、見た目もおいしそうに見えるような調理に工夫された。しだいにご本人の食欲も出て、食事がすすむようになったというような事例がある。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 利用者様1人ひとりに職員一人水分量。食事量をこまめに記録に付け、その日の状態にあった摂取のしかたをしています	
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価) 実施しています	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価)	次
			自立支援をめざし、様子観察し、支援している	
			(外部評価)	次
			「なるべくトイレで排泄」できるよう支援に努めておられ、「下肢の動き等に制限があると、トイレで座位をとることが難しくなるのではないか」という視点から、「足を動かす運動」が行えるよう支援されており、排便が困難だった利用者も、座位をしっかりと保ち、前傾姿勢がとれるようになったことで、排便がスムーズになったというような事例もある。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価)	次
			便秘しやすいお方は、ケアプランにて腹部マッサージの施行、他の方も牛乳など摂取して頂き、水分摂取など気を付けて、便秘予防に取り組んでいる	
			(外部評価)	次
			利用者個々に週3回入浴できるよう支援されている。入浴を嫌がる方には、声かけやタイミングを工夫されたり、時には、ご家族やかかりつけ医からすすめていただくことで、無理強いついすることなく入浴につながるようだ。温泉好きな利用者と職員で、東温市の温泉に行かれたこともある。	
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価)	次
			ご本人の希望を聞き、入浴して頂いている	
			(外部評価)	次
			利用者個々に週3回入浴できるよう支援されている。入浴を嫌がる方には、声かけやタイミングを工夫されたり、時には、ご家族やかかりつけ医からすすめていただくことで、無理強いついすることなく入浴につながるようだ。温泉好きな利用者と職員で、東温市の温泉に行かれたこともある。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価)	次
			1人ひとりの生活習慣に合わせて転倒などない様にし、安心して眠られる様気を付けている	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 薬管理ファイル、処方箋ファイルなどで、いつでも把握出来る様にしている	
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) ご自分の好きな事、趣味や日常の家事(洗濯、清掃)など、役割を担って頂いている	
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) 全ての人ではないが、天気の良い日は散歩したり、外出(買い物・外食。温泉)など、希望の場所へ出掛ける様支援している	
			(外部評価) サーカスを見に行かれた利用者は、「めったに見ることができないものが見れてよかった」と喜ばれたり、利用者の希望で、愛媛の名菓の羊羹やまんじゅう等、昔なじみのお菓子を買いに行かれ、「願いが叶った」と満足された方もある。又、見奈良にコスモスや菜の花を見に出かけられたり、スーパーに出かけて、おやつにドーナツやアイスクリームを食べて帰ることもある。車での外出が難しい方には、事業所周辺の散歩やウッドデッキに出て、畑や花壇を見ながら、おやつを楽しむことができるよう支援されている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 支援している	
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 支援している	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>(自己評価) 季節の花を生けたり、庭の野菜や花を観たり、散歩をされる。冬はトイレの便座の暖房を入れたり、快適に過ごされる様工夫している</p> <p>(外部評価) 居間や廊下の壁には、利用者の表情や行事の様子がわかる写真を行事ごとに貼っておられる。母の日に事業所から贈ったカーネーションを花瓶に生けておられたり、ご家族から贈られたカーネーションの鉢植えも飾られていた。畳コーナーには、現在、五月人形やこいのぼりが飾られている。冬場は、こたつを置いて、利用者のくつろぐ場所になるようだ。ウッドデッキから出入りできる花壇や畑は、入居後に、畑仕事に関心を持たれた利用者の方が世話してくださっており、毎日のように畑に出て、苗の植え付けから収穫までの作業を行ってくださっている。春には収穫した豆を卵とじにして、みなで楽しまれた。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>(自己評価) 1人ひとりが居室で休まれたり、リビングにて利用者様達が会話され、又、ゲームをされる交流の場所になっている</p>	
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>(自己評価) 入居時ご本人の使われている物。好きな物を持ってこられる。</p> <p>(外部評価) オシャレに関心のある利用者の居室には、鏡台が持ち込まれてあり、いろいろな色の口紅や化粧品もみられた。シューズ棚を置いて、外出用の靴を整頓される方もある。お好きな歌手のポスターを貼っておられたり、冷蔵庫を置かれている方もあった。ポータブルトイレが必要な利用者には、家具調のポータブルトイレを事業所で用意されており、見た目等にも配慮されており、いすとしても利用されている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>(自己評価) 一人一人の状態にあわせて実施している。</p>	